

海南お仕事ナビ

創刊号 平成 27 年 3 月 20 日
海南市ふるさと就職促進協議会
(事務局：海南市役所産業振興課)

～はじめに～

私たちの地元・海南市には、様々な仕事をして暮らしている人がいます。

この「海南お仕事ナビ」は、海南市で働いている人に、仕事の内容ややりがい、その仕事を選んだきっかけ、海南市で働いて良かったことなどをインタビューし、中学生の皆さんにご紹介するため発行しました。

海南市で活躍する大人の生の声や、地元・仕事に関する情報をお届けしてまいりますので、皆さんが将来の夢を考える時の参考にしていただくとともに、地元の良さを再発見するきっかけになれば幸いです。



創刊号企画 海南市の主な産業講座

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 家庭日用品産業 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

海南市には、たわしやスポンジ、トイレブラシやキッチンマットといった水回り商品を中心とした家庭日用品産業の企業が集積しており、全国的にも大きなシェアを誇る産地となっています。

スーパーやホームセンター、100 円ショップなどに並べられている商品も、よく見ると、海南市の企業で製造されたものがたくさんあります。



◇家庭日用品産業の歴史

海南市の家庭日用品産業は、野上谷（旧海南市東部〔北野上・中野上・南野上〕及び紀美野町の一部）で栽培されていた棕櫚【しゅろ】を原材料にして縄やたわし、ほうきなどを製造する「棕櫚産業」に端を発しています。

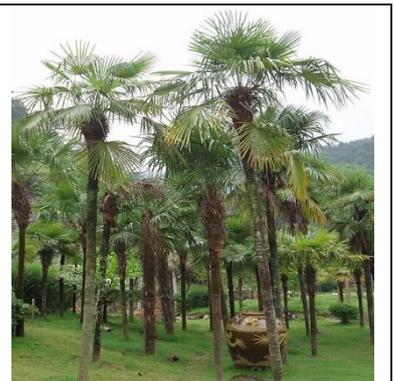
原材料は、時代とともに棕櫚から東南アジア産のパーム、そして化学繊維へと変わっていき、現在では多種多様な商品が作られています。

棕 櫚

棕櫚は、ヤシ科の植物で雌雄異株の常緑高木です。

幹は直立しており約 10 メートルにも達します。葉の大きさは約 70～80 センチで、形は丸く扇状に 30～50 に分裂しており、葉質は硬く強く、ほとんどが上半分の位置で折れ曲がって下方に垂れ下がっています。

長い柄の基部は大きな葉鞘【ようしょう】となります。葉鞘の基部で幹にまきついている繊維は縄やほうきなどに利用されます。



★次のページから、家庭日用品産業で働く 2 人のインタビューを掲載しています★

岡本 優子さん(28) 株式会社 小久保工業所

シャンハイ

上海の大学で学んだ経験を 海南発の生活グッズに活かす

■上海から海南省へ Uターン就職

中国・上海の大学で語学の勉強をして、卒業後、地元である海南省に帰って就職活動を始めました。もともとは県外で働きたい気持ちが強かったのですが、いったん地元に戻ってみると、育ってきた土地なので住みやすいし、やっぱり海南が好きなので、このまま地元で就職するのもいいなと思うようになったんです。

ワークフェスで出会った小久保工業所は、中国にも工場があると知り、これまで学んできた語学を活かせると思いました。海南省は家庭日用品産業の盛んなまちですが、就職活動をするまでそのことを知らなかったのが、新鮮な気持ちで家庭日用品の仕事に興味を抱き、就職を決めました。

■年間 数 100 個にのぼる新商品開発をサポート

入社後3年間は業務部門で、売上傳票の処理など事務の仕事を担当していました。その間にも、中国の工場とのやりとりや書類の翻訳などを任されたりしていましたが、4年目からは企画部に異動となり、本格的に家庭日用品の商品開発に関わるようになりました。

企画部では、新商品開発のサポート役として、資材の手配などの他、仕入れ先の会社の方との打ち合わせに同席したり、上司や営業さんの中国出張に同行して通訳をすることもあります。また、業務部門と連携する仕事もあり、輸入の手配や在庫管理なども担当しています。

■たくさんの方が関わるものづくり

この仕事で面白いのは、アイデア段階から消費者の方が手に取るまで、商品開発の過程が目に見えるところです。1つの商品を作る中では、たくさんの方や会社、工場が関わっているので、それぞれ同時進行でたくさんの情報が動いています。古い情報を持ったままにせず、最新の正しい情報が手に入るよう、常に確認作業を怠らないようにしています。

企画部は2年目ですが、まだまだ商品開発に関する知識が足りない部分や、できないこともたくさんあるので、これからもっと経験を積み、自分にできることを増やしていきたいと思っています。



♪♪♪岡本さんの休日♪♪♪

年に数回は旅行に出かけたり、家にいる時には一緒に住んでいる甥っ子の面倒を見ている。家族と暮らす家の中は、いつもにぎやかです。

取材協力	株式会社 小久保工業所
	■本 社：〒640-1161 海南省野上新 201-9
	■T E L：073-487-1811
	■H P：http://kokubo.co.jp/
	■代表者：代表取締役 小久保 好章
	■創 業：昭和 33 年 7 月 1 日
	■家庭日用品の製造・販売



山本 祥子さん(27) 株式会社 サンコー

使うお客様の視点を大切に 感動をもたらすものづくり

■女性の目線で商品開発

サンコーの商品開発部門、サンコーテリア(株)に所属して、生活関連用品の商品開発に携わっています。生活グッズは女性のお客様に使っていただくことが多いので、開発の際には女性の手の大きさを考慮したり、女性の視点で考えることが大切になってきます。だからサンコーテリアでは、女性社員もたくさん活躍しています。

試作品ができれば、家に持って帰って自分で使ったり、母親に試してもらうこともあります。扱っている商品の多くが家の中で使うグッズなので、モニターの現場も身近にあるんです。

■チームワークの仕事を希望、決め手は…

大学には実家から通っていたので、就職先も地元で探したいと思っていました。海南市はやっぱり生まれ育った場所で安心。都会すぎないのに、お出かけするにも便利な土地だと思います。

就職活動を始めた当初は、開発の仕事に特別興味があるわけではありませんでした。それが、職業体験などしている中で、いろんな人と意見を出し合っって一つのものを作っていくという仕事の楽しさに目覚めました。一人だと、自分の体験したことしかわかりませんが、みんなで話し合えば、それぞれの経験を持ち寄ってたくさんのアイデアが生まれます。そんな企画開発の仕事をやりたいと思うようになった頃、サンコーの就職説明会に参加した時に、まさに私の求めていたような、具体的な開発の仕事を経験させてもらえたんです。さらに、実際にサンコーの商品を使ってみたら、とても良かったので感動しました。結局、就職の一番の決め手は、商品に惚れたことです。

■現場を知ることが大切

サンコーでは生活グッズ以外の商品も作っているのですが、たとえば介護に役立つ商品を作るにあたっては、介護の現場を知らないとわからないことって必ずあると思います。やっぱり自分で現場に入って、そこで本当に必要とされているものは何なのか、考える必要があります。今後は、そんな体験をする機会を積極的に持って、より良い商品の開発につなげていきたいです。



♪♪♪山本さんの学生時代♪♪♪

中学ではバスケットボール部、高校・大学では陸上部に所属していました。文化系に見られることが多いのですが、意外とスポーツ派です！

取材協力	株式会社 サンコー
	■本 社：〒642-0022 海南市大野中 715
	■T E L：073-482-5011
	■H P：http://www.sanko-gp.co.jp/
	■代表者：代表取締役 角谷 太基
	■創 業：昭和 37 年 3 月 1 日
	■生活関連用品の製造・販売



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 漆器産業 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

「黒江」地区を中心に産地を形成している紀州漆器（黒江塗・根来塗）は、会津（福島県）、越前（福井県）、山中（石川県）とともに全国四大漆器産地の一つに数えられています。

◇紀州漆器の特徴

紀州漆器は、岩出市の根来寺の僧によって伝えられた根来塗【ねごろぬり】と呼ばれる塗りが特徴的です。

根 来 塗

根来塗とは、根来寺の僧が黒漆の下塗りの上に朱塗りを塗ったところ、腕が未熟だったために使用中に表面の朱塗りがすり減って下塗りの黒漆がところどころ露出してしまったものが、かえって趣あるものとして喜ばれ広まったものです。



◇伝統的工芸品の指定

紀州漆器は、昭和 53 年に通商産業省（現在の経済産業省）から「伝統的工芸品」の指定を受け、和歌山を代表する伝統産業となっています。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 農林水産業 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

自然豊かな海南市は、みかん、びわ、もも、かき、すももなど農産物の産地としても有名です。また、水産業も盛んで、しらすや鱧【はも】、アジアカエビなどの海の幸に恵まれています。

◇下津の貯蔵みかん

貯蔵みかんは、12 月の完熟みかんを糖や酸味のバランスが良くなるまで蔵の中で貯蔵したみかんのことで、下津町地区で生産されています。

みかんを貯蔵する蔵は、木造・土壁で土蔵のような造りになっており、室内の温度と湿度を一定に保つことによって酸が抜けてまろやかな味に仕上がります。

蔵の中でみかんを入れておく箱も特製の木箱を使用し、蔵内の空気の入替えや木箱の差し換え、品質チェックを毎日行ってみかんの状態を管理します。

